

チーム中部

愛知
岐阜・石川
三重・福井
静岡・富山

平成 17 年 5 月 10 日 No.2005-1
社団法人 日本放射線技術学会
中部部会

事務局：〒920-0942

金沢市小立野 5-11-80

金沢大学大学院

医学系研究科保健学専攻内

TEL・FAX 076-265-2541

URL <http://jsrttb.met.nagoya-u.ac.jp/>

巻頭言

「夢と希望の持てる放射線技術をめざして」

福井大学医学部附属病院 東村享治

今回、新たに中部部会の部会長になることになり、誠に光栄に存じています。

これからの放射線技術がどのような方向に進んでいくのか明確には答えられません。自分たちの専門分野だけを見ている時代ではないことや技術に対するエビデンスが求められていることは確かです。又、医療の安全の担保も問われています。このような厳しい状況の中で、これからの若い技術者を含めて、我々が将来に夢と希望を持てる放射線技術を作っていくために今、新たな挑戦が始まっていると思います。放射線技術者は、専門知識がまず基盤ですが単に既存の知識だけでは技術は発展していきません。その上に新しい知識を創造することで、技術のさらなる成長を遂げることができるのだと思います。中部部会としても、夢と希望を持った技術者、安全に対する責任感、誇りのある技術者、自発的、創造的な技術者を育成できる環境作りが出来ればと思っています。今までの研究会を中心として技術の蓄積財産を生かして、効率よく、実践に即した運用をめざします。今、電子化の発展で多種多様な情報が入ってきますが、個人的な能力だけで情報を的確に整理し、その重要性を判断していくことは難しいと思います。そこで部会が中心に重要な情報の共有化と情報の即時性を求めて部会ホームページをより充実させて、常に最新情報を会員の皆様に伝わりますように基盤整備を充実させていきたいと思っています。その上で質や安全等の情報が的確に伝わっていくように各研究会のお力を借りて、学術企画をより充実させたいと思います。

そして会員の皆様には、我々の放射線技術も外部評価される動きがあることをご理解いただき、自分たちだけの視点でなく、医療全体を捉えた枠組みで個々の分野での放射線技術の有効性をご検討いただきたいと思います。今後、顔の見える専門性をめざし、放射線技術が生かされていくためには、会員の皆様一人ひとりが各専門技術に対するエビデンスを持っていただくことだと思います。中部部会も新体制で、最新の情報や教育研修の場を会員の皆様にタイミングよく提供できるように努力していきますので、会員の皆様からもどしどしとご意見をいただき、又、ご協力の程をよろしく願います。

事務局からのお知らせ

(社)日本放射線技術学会中部部会
部会長 東村享治

！！ ビーム中部の郵送による配布を廃止します ！！

平成 17 年 4 月 17 日に行われました平成 17 年度中部部会第 1 回理事会において、事務業務の簡略化，経費の節減と共に、学術集会，研究会の充実を図るべく以下のような変更が議決されました。

(1) 会員広報誌ビーム中部の郵送による配布を基本的に行いません。

インターネットの普及により各種学会手続きの電子化が進んでいる。情報の即時性の面からも郵送による配布が必ずしも好ましくない。などの理由によりビーム中部は会員各自による中部部会ホームページからのダウンロードによる配信を基本とします。

(2) 研究会等の広報は中部部会ホームページを最新情報とします。

前項にも関連して、中部部会が設置する各学術研究会の行事予定が不定期であり、その情報が必要な会員に即時に伝わる必要性から、開催案内，変更等の広報は中部部会ホームページ上で掲載します。

なお、希望者にはビーム中部の紙媒体配布の継続を受け付けます。本紙同封の葉書にて 5 月末までに事務局にお申込ください。(郵送は発行日より 2 週間程度遅れます)

中部部会事務局は移転しました

新事務局の連絡先は以下のとおりです。

〒920-0942 金沢市小立野 5-11-80

金沢大学大学院医学系研究科保健学専攻内 (社)日本放射線技術学会中部部会

TEL・FAX 076-265-2541 事務局メールアドレス jsrttb@met.nagoya-u.ac.jp

(事務局の運用上、返事が遅れることがありますので御了承下さい)

WEB ページのアドレスは従来どおりです (<http://jsrttb.met.nagoya-u.ac.jp/>)

会員情報の変更は技術学会本部のホームページ(<http://www.jsrt.or.jp/>)の入会案内からお願いします。

会告

(社)日本放射線技術学会中部部会
部会長 東村享治

第6回日本放射線技術学会中部部会 ブロック研修会

明日から役立つ画像診断と治療(シリーズ5:脊椎:脊髄疾患)

今回は脊椎脊髄疾患について、診察室から画像診断～治療にいたる過程を整形外科医と放射線科医の立場から臨床の第一線で御活躍されているお二人の先生にご講演いただき、臨床と画像について理解を深めると共に、脊椎:脊髄疾患について各モダリティが果たす役割と技術に関するシンポジウムと討論会を開催いたします。会員の皆様の多数のご参加をお待ちしております。

日時：平成17年6月4日(土) 14:00～17:30

場所：石川県立中央病院健康教育館2階

参加費：会員：無料 非会員：1,000円

【プログラム】

「教育講演」 14:05～16:05 座長：松浦幸広(金沢大学医学部附属病院放射線部)

14:05～15:05 「脊椎:脊髄疾患-診察から治療の現状」

川原範夫 先生(金沢大学医学部附属病院リハビリテーション部助教授)

15:05～16:05 「脊椎:脊髄疾患の画像診断」

鈴木正行 先生(金沢大学大学院医学系研究科保健学専攻教授)

「シンポジウム」 16:15～17:30 座長：大家伸介(石川県立中央病院中央放射線部)

16:10～17:10 発表

CT : 清水明憲(厚生連高岡病院画像診断部)

MR : 齊藤善明(福井県済生会病院放射線技術部)

RI : 彦 滋章(公立松任石川中央病院医療技術部放射線室)

17:10～17:30 討論

会告

(社)日本放射線技術学会中部部会

部会長 東村享治

開催委員長 川地俊明

第40回中部部会学術大会 開催のご案内

(社)日本放射線技術学会第40回中部部会研究発表会を下記の要領にて開催いたします。多数の会員の皆様をご参加下さいますようお願い申し上げます。なお、詳細、演題募集については8月末頃、次号のビーム中部にてご案内いたします。

日時： 平成17年11月12日(土)、13日(日)

会場： 大垣市スイトピアセンター(音楽堂)

〒503-0911 岐阜県大垣市室本町5-51

TEL 0584-74-6050

URL <http://www.city.ogaki.gifu.jp/kurashi/shisetu/085index.htm>

問い合わせ先：

大垣市民病院 川地俊明

TEL 0584-81-3341

e-mail kawachi7@dream.com



= プログラム予定 =

11月12日(土)

- ・各研究会
- ・会員研究発表
- ・ランチョンセミナー
- ・教育セミナー
- ・ワークショップ
- ・特別講演
- ・懇親会

11月13日(日)

- ・会員研究発表
- ・ランチョンセミナー
- ・中部部会年会
- ・教育セミナー
- ・ワークショップ



研究会のご案内

中部部会 CT 研究会

CT 研究の最前線報告会のお知らせ

東海ブロック世話人代表 辻岡勝美

このたび、「CT 研究の最前線報告会」と題して講演会を開催します。この講演会は4月に横浜で開催された第61回日本放射線技術学会総会の研究発表から、特に興味ある演題について講演をしていただくもので、CT 研究の最先端を知ることができます。

講演時間も総会発表時の7分ではなく30分程度とし、研究背景から考察まで詳細な講演をしていただく予定です。総会に参加されなかった方、参加したがさらに詳しく知りたい方、最新のCT 技術に興味のある方、興味のない方、是非とも皆様の参加をお待ちしています。

(事前申込み不要、非会員でも参加可能です)

日時：

平成 17 年 5 月 14 日(土)午後 2 時～午後 6 時

場所：

エーザイ株式会社東海サポートセンター6階ホール
(名古屋市地下鉄高岳駅の北)

内容：未定

(総会の発表の中から興味のあるものを選択します)

【問合せ先】

〒470-1192

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-9 8

藤田保健衛生大学衛生学部診療放射線技術学科
辻岡勝美

E-mail tsujioka@fujita-hu.ac.jp

Tel 0562-93-9419

Fax 0562-93-4595

第17回中部部会乳房画像研究会

最近急速にデジタルマンモグラフィが普及してきましたが、その画質と読影に与える影響を検証したいと考えてこの企画をいたしました。自分の目で確かめ、お互いに今後の参考としたいと思っておりますので、ぜひふるってご参加ください。

日時： 6月18日

会場： 石川県立中央病院 健康教育館

参加費： 会員 無料 非会員 500円

プログラム

13:30～14:30 読影

S F10 症例、C R10 症例、P C M10 症例の予定

14:30～15:10 講演 1

位相コントラスト技術を用いた

乳房X線撮影システムの開発

コニカミノルタメディカル株式会社 長束澄也氏

15:10～15:30 休憩および読影

15:30～16:20 講演 2

乳房撮影の読影(カテゴリー分類) 仮題

金沢大学医学部付属病院放射線科 川島博子先生

16:20～16:45 読影解説

金沢大学医学部付属病院放射線科 川島博子先生

16:45～17:15 討論会

川島先生、コニカ、福井済生会病院技師

中部部会 第6回 CT 立山セミナー

中部部会 CT 研究会

雄大な立山の自然の中で、新鮮な空気を細胞のひとつひとつに送り込み、全身隈なくリフレッシュしてみませんか！ 今回で6回目を迎えるCT立山セミナーでは、「CT検査の専門制度を考える」と題して現在、CT専門委員会で進められている「胸部CTスクリーナ制度」について国立病院機構神奈川病院の花井耕造先生に解説していただき、「本音を語るCT座談会」でこの専門制度について文字通り本音で意見交換し、CT検査における専門制度に必要な安全かつ高度な医療の質の確立に向けて語り合いたいと思います。もう一つのテーマとして多列化する「マルチスライスCTの検査環境」と題して大量に発生するデータを有効利用するにはどのような検査環境の整備が必要か検証します。

又、新しい企画として、学位取得（博士号）した会員である名古屋大学の市川勝弘先生に「仕事、研究、そして学位取得」と題してご講演いただき、社会人として仕事をしながら学位取得をされた苦労話など興味深い話が聴けますので、今後の若い会員の方に参考にしていただければと思います。

とにかく、日頃の疲れから・・・こころ癒してみませんか。夕日に染まる雲海、満天の夜空に瞬く星々、弥陀ヶ原に咲き乱れるチングルマ、信仰の山“立山”、どうぞ普段着でお越しください。

日時：平成17年7月9日（土）10日（日）1泊2日
会場：国民宿舎立山荘

Tel. 076-442-3535 Fax. 076-442-3535
ホームページ

<http://www.pref.toyama.jp/sections/3009/tateyama.htm>

集合場所：平成17年7月9日（土）

12:00JR 富山駅北口 又は 12:40 地鉄立山駅

貸切バス運行

（申込時には、集合場所を必ず明記してください）

参加募集人数：40名

参加費：20,000円（但し参加費には宿泊費、往復貸切バス代、食事代4食分、資料代含む）

締切り：平成17年6月10日（金）

申込先：E-mail chubu_ct@hotmail.com

（全て電子メールでお申込みください。）

申込時に参加希望者の所属、氏名、連絡先、本人宛での電子メールアドレス、集合場所を明記してください。（富山医科薬科大学 放射線部 伊藤まで）

問い合わせ：中部CT研究会事務局

金沢大学医学部附属病院 放射線部

辻井、高田、松原まで

Tel. 076-265-2000 Fax. 076-234-4311

【プログラム】

テーマ「CT検査の専門制度を考える」

= 1日目 7月9日（土） =

【技術講座】14:30～16:20

1. 「CT検査専門制度 - 胸部CTスクリーナとは - 」

2. 「取得に向けた取り組み方」

【学位取得講演】16:30～17:30

3. 「仕事、研究、そして学位取得」

【座談会】20:00～22:00

4. 「本音で語るCT座談会」

CT検査の専門制度を考える

・ 専門制度に向けて技師がやるべき事とは・・・

= 2日目 7月10日（日） =

【実践講座】8:30～10:00

5. 討論 「マルチスライスCTの検査環境」

室堂散策 10:00～12:00

解散（JR 富山駅着）15:00頃予定

放射線防護研究会

平成 17 年度 第 20 回研究会のお知らせ

本年の障害防止法の改正を受けて、法令改正とその概要を放射線審議会委員でかつ、放射線審議会基本部会部会長代理の下道国教授（藤田保健衛生大学衛生学部）に講演願うこととなりました。さらに、現場での対応として名城大学薬学部 RI センターの高橋郁子先生にお願い致しました。法令の成立過程や、法令の中身についてかみ砕いて講演して頂くようお願いしました。現場対応につきましては、具体的な対策、問題点等もお話しして頂くことになりました。質疑等、本音で語り合える会にしたいと考えています。多くの会員、関係各位の参加をお待ちしております。

日時：平成 17 年 6 月 18 日（土曜日）

14:00 から 16:30

会場：名古屋大学医学部保健学科大講義室

テーマ：障害防止法改正の概要と対策

講演者：

1. 障害防止法の概要

藤田保健衛生大学衛生学部

放射線安全管理学教室教授 下 道国 先生

2. 障害防止法改正に対する現場対応

名城大学薬学部 RI センター 高橋郁子 先生

連絡先：

470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽が窪 1-98

藤田保健衛生大学衛生学部

診療放射線技術学科 鈴木昇一

電話：0562-93-2548(直通)

e-mail; ssuzuki@fujita-hu.ac.jp

関連研究会のご案内

第 4 回 IHE ワークショップ in 金沢

共催：IHE-J, 日本 PACS 研究会医用画像電子化研究会

後援：日本放射線技術学会中部部会

日時：2005 年 5 月 14 日（土） 13:00～18:00

場所：金沢大学医学部保健学科 4111 講義室

〒920-0942 石川県金沢市小立野 5-11-80

Tel 076-265-2500

<http://mhs3.mp.kanazawa-u.ac.jp/>

資料代：2000 円【JPACS 会員は、資料代 1000 円】

挨拶 IHE-J 委員長 石垣武男

13:10 - 14:10 「ユーザはここが困っている」

司会 IHE-J 渉外委員会 倉西 誠

1. 福井大学における HIS 導入でここが困った
福井大学放射線部 上坂秀樹

2. 豊橋市民病院における HIS と RIS の渡
豊橋市民病院 原瀬正敏

3. ユースケースを用いた電子カルテの導入
静岡大学工学部 作佐部太也

14:10 - 16:20 「IHE はこう使う」

司会 IHE-J 臨床企画委員長 江本 豊

1. 「IHE 入門」

IHE-J 渉外委員会 奥田保男

2. 「埼玉医大での IHE 導入の実際」

IHE-J 渉外委員会 松田恵雄

3. 「埼玉医大での IHE の意味づけ」

IHE-J 臨床企画委員会 奥 真也

4. 「IHE の世界動向と CyberRad2005 の成果」

IHE-J 渉外委員長 安藤 裕

16:20 - 16:30 休憩

16:30 - 17:30 「IHE の応用編」

司会 IHE-J 渉外委員長 安藤 裕

1. 「電子カルテへの対応（IT インフラストラクチャーを使用すると）」

IHE-J 運営委員 細羽 実

2. 「検体検査領域の IHE-J」

(株) テクノメディカ 平沢 修

3. 「臨床検査領域での IHE 導入の実際」

岡崎市民病院 情報管理室 山田 修

17:30 - 18:00 「行政から見た IHE-J への期待」

司会 JIRA 大林・山本

1. 「経済産業省の立場から」

経産省 商務情報政策局サービス産業課 町田 昇

18:00 挨拶 金沢大学大学院 真田 茂

福井 CT・MR 研究会

日時：平成 17 年 6 月 18 日（土）14:00～18:00

会場：福井商工会議所

〒918-8580 福井県福井市西木田 2-8-1

TEL0776-33-8288

JR 福井駅からタクシーで 5 分

技師講演

最新 CT 撮像技術と診断への寄与

・頭部領域

札幌医科大学医学部附属病院放射線部 平野 透

・心臓領域

財団法人中村病院放射線部 白崎伸一郎

・腹部領域

大阪医科大学附属病院放射線科 吉川秀司

特別講演

画像診断領域の診療報酬制度の仕組みと問題点

・(社)日本画像医療システム工業会 (JIRA)

法規経済部会 副部会長

法規委員会・経済委員会・安全性委員会 各委員長

・富士フイルムメディカル (株)

営業本部販売企画部 ゼネラルマネージャー

野口雄司

シンポジウム

お問い合わせ：

福井 CT・MR 研究会 代表世話人 江端清和

〒916-0018 福井県鯖江市幸町 1-2-2 高村病院

TEL：0778-51-2030

e-mail：ctmrken@infoseek.jp

第 9 回全国 X 線 CT 技術サミット

開催担当世話人

藤田保健衛生大学衛生学部 辻岡勝美

下記の内容で第 9 回全国 X 線 CT 技術サミットを開催します。本会は全国的な会で最先端の装置開発、撮影技術を知ることの出来る格好の会です。今回は「CT 技術の最前線」というテーマで、マルチスライス CT の進歩、評価法、撮影技術など、盛りだくさんの企画を用意しております。講演のほか、装置メーカーによる機器展示もあります。是非ご参加ください。

テーマ「CT 技術の最前線」

日時：2005 年 7 月 16 日（土）

9：00～18：00（8：30 開場）

場所：名古屋国際会議場（センチュリーホール）

会費：2,000 円（学生証を提示の方は 1,000 円）

内容：

シンポジウム（1）CT 装置の性能評価

シンポジウム（2）最新の CT 装置

シンポジウム（3）CT 検査の実際

特別講演「CT 技術の将来展望」

藤田保健衛生大学 片田和廣先生

【問合せ先】

〒470-1192

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-9 8

藤田保健衛生大学衛生学部診療放射線技術学科

辻岡勝美

E-mail tsujioka@fujita-hu.ac.jp

Tel 0562-93-9419

Fax 0562-93-4595

(社)日本放射線技術学会中部部会
チーム中部 2005 年第 1 号

発行：東村享治

編集：小山修司、石森佳幸